

会派理念

市民の代弁者として、質の高い 議会をめざす

- * 少子高齢化・人口減少を喫緊の課題と捉え、政策立案と提言
- * 子育て・高齢者・障害者支援策の提言
- * 大野市に見合った公共交通網・公共施設の政策立案と提言
- * 地下水保全(健全な水循環)と水文化の創出
- * ジェンダーLessの取組み推進



猪嶋 清文



帰山 寿章



笹山 晃一



岸本 一敏

目次

第438回 第439回 定例会報告

- ① 小中学校施設改修事業について (臨時) 16億1172万円
- ② 有終西小学校卒業生の進学先について
- ③ 文化会館について
- ④ 公共施設再編推進室の取組みについて (新規)
- ⑤ 大野市こども家庭センター開設について (新規)



- ⑥ 地域安心すまいる事業等について
- ⑦ 越前おおの型農業推進事業補助について (新規)
- ⑧ 新規就農者支援事業補助について
- ⑨ 農業集落排水事業統合について
- ⑩ (仮称)乾側地域交流センター整備基本計画について



Q & A

質疑・一般質問

代表質問 猪嶋 清文 議員

第438回定例市議会 (令和6年3月定例会)



Q 星空のまちという素晴らしい特徴を、未来へつなげていくために、教育課程からの取り組みが重要と考えるが、学校でどのように取り組んでいるか？

A 小学校では、ゲストティーチャーを招いたり、自然保護センターに出掛けたりして、本市の星空の美しさや星座などについて学んでいる。中学校では、理科の授業で、星空保護区について学習している。高校では、地域おこし協力隊が生徒のサポート役となり、星空観光の推進イベントを開催した。



Q 県は能登半島地震の状況を踏まえて道路啓開計画を令和6年度に策定することであるが、市に同様の計画策定の予定はあるか？

A 大規模災害時には、災害対策活動を速やかに行うため、県が定めている緊急輸送道路や主要道路から優先的に応急復旧を行い、交通の確保に努めるとしている。
なお、県が策定する予定の道路啓開計画を参考にし、必要があれば大野市地域防災計画に盛り込むことを考えている。



Q 能登半島地震を受けて地域防災計画をどのように見直したのか？

A 近年の激甚化、突発化する災害に対するため、早期の情報連携と災害対応が可能となるよう、情報連絡会を設置することとし、気象状況や被害状況等により速やかに災害対策連絡室に移行できるようにした。今後は、能登半島地震と同規模程度の災害等で被災した場合を想定し、研修や訓練を通じて、地域防災計画の全体的な点検作業を進めていく。

Q 北陸新幹線効果により観光客の増加が期待されることであるが、タクシーなどの2次交通の手段が乏しい状況である。利便性を高めるため、ライドシェアの導入や駅に併設された駐車場を利用したレンタカーの配置を検討できないか？

A ライドシェアについては、他市で検討が進められているところであるが、事業実施に当たっては、費用負担を検討する必要がある。レンタカーについては、民間事業者が、実証実験を兼ねて城下町東広場に配置しており、この利用実績を検証した上で検討していく。

第439回定例市議会 (令和6年6月定例会)



Q 好調な道の駅「越前おおの荒島の郷」からの「まちなか」誘客する施策を考えているのか伺う？

A 道の駅での買い物客に対し、ポストレジ(レシート)を利用した、公共施設、観光施設の利用特典や結楽座でのお買い物券などを提供し、誘客を図りたいと考えている。



Q 令和年春に開通する中部縦貫道路を利用した名古屋からの高速バス運行の可能性はあるか。また、運行を見越した本市への誘客方法を考えているか？

A 愛知県の高速バス事業者や旅行会社に要望を行っており、良い感触を得ている。本市への誘客については、観光ビューローや観光事業者と連携し、周遊滞在型の観光プランを提供していきたい。

Q & A

質疑・一般質問

一般質問 帰山 寿章 議員

第438回定例市議会 (令和6年3月定例会)



Q 公共下水道加入率 (水洗化率) は？

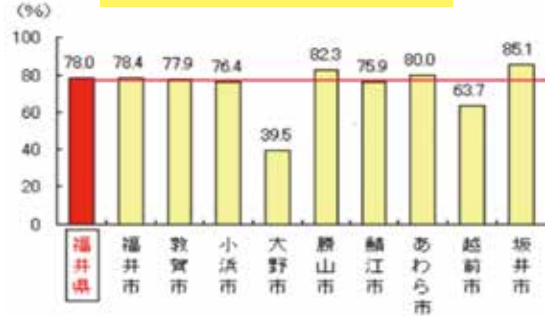
A 本市の公共下水道事業は名水のまち大野として水循環の保全を図るとともに、市民の快適な生活環境を確保するため、整備を進めている。
全体計画917.5ヘクタール、面積比で81.8パーセントの整備を終えており、接続人口の割合を示す**水洗化率は39.2パーセント**である。



Q 加入促進の対策は？

A 加入されていない家庭へは職員が個別訪問し、接続に係る支援制度を紹介するなど、丁寧な対応を心掛け、理解が得られるよう努めていく。

福井県内各市 水洗化率 (R4.12資料)



ご近所接続奨励金のご案内

R6. 4月



ご近所同士のお隣り合いで下水道の利用を考えてみませんか。

<奨励金交付までの流れ>

1. ご近所同士のお隣り合いでグループ形成

【グループの条件】

- 2軒以上の専用住宅や店舗併用住宅、区分所有建物(住居用途)の所有者とグループをつくること
- グループの対象の建物全てが合併処理浄化槽またはみどり使用から公共下水道へ接続すること
- 合併処理浄化槽からの接続や新築・改築に伴う接続は、グループ対象外となります。
- グループの対象の建物が、ご近所内にあること

→ご近所とは ① 隣接する市町村の行政区 ② 市内の排水設備工事を施工する建物から直線距離で概ね200m以内

【奨励金額】

- 2軒グループ 建物1軒につき3万円
- 3軒グループ 建物1軒につき6万円
- 4軒グループ 建物1軒につき8万円
- 5軒以上グループ 建物1軒につき10万円

Q 合併処理浄化槽から公共下水道への切り替えの状況は？

A 浄化槽設置整備事業補助は、公共下水道の事業許可区域や農業集落排水事業等の事業採択区域以外を対象として、合併浄化槽を設置しようとする人に、その一部を補助するもので、補助を受ける人には公共下水道の管路が整備された場合、速やかに接続する誓約をもらっている。

Q 農業集落排水との統合状況は？

A 人口減少の到来による使用料収入の減少と施設の老朽化が進む中、良質な汚水処理を持続的に行うことを目的に、令和4年3月策定の大野市汚水処理最適化計画に基づき、市街地に近い農業集落排水施設は公共下水道に、農業集落排水施設同士での接続により、人口に応じて施設規模を縮小し最適化するもの。
また、統合に併せて料金定額制から使用水量による従量制に統一するもので、各処理組合や住民に理解を得られるよう説明を行っていく。

Q & A

質疑・一般質問

一般質問 岸本 一敏 議員

第438回定例市議会 (令和6年3月定例会)



Q 当初予算基本方針にある積極的な企業誘致の推進と創業支援、多様な働く場の創出とは？

A 物流関連産業や製造業、IT関連企業へ本年を上回る数の企業と面談し、誘致活動を実施していく。創業支援については、相談窓口やセミナーの開催、まちなかの空き店舗や空き地、共同店舗への出店補助等を実施していく。また結のビジネス創出事業により、多様な雇用と働く場づくりに取り組む。

意見：市内事業者への支援も積極的に検討されたい。



Q 福井大学や県立大学に対し、社会福祉学部や農学部創設などをはたらきかけてはどうか？

A 企業誘致に似た発想と理解する。機会があれば、本市に誘致する方向へ持っていきたいと思う。

Q 本市の消防水利の現状は？

A 主に消防水槽や消火栓のほか、河川や用水路などの自然水利がある。地域を分けし、区画ごとの消防水利の有無により充足率として表している。令和4年4月1日時点で、必要区画数928に対して552区画に消防水利が整備され、充足率は59,5パーセントである。

Q 積雪時には細い用水路の水量が懸念されるが、消火活動に支障はないのか？

A 用水路などの自然水利は投雪により使用できない場合が多く、防火水槽や消火栓の管理が特に重要となる。市街地を巡回し主な水路の水量を調査し、火災出動時の水利情報として活用している。今後も消防水利の維持管理に万全を期していく。



第439回定例市議会 (令和6年6月定例会)



Q 奥越ふれあい公園陸上競技場人工芝化の進捗は？

A 令和5年度の県への要望は、現在の陸上競技場内の天然芝を人工芝に更新する要望をしており、令和6年度は予算化されなかったことから、引き続き要望していく。

意見：天然芝と人工芝の維持経費の比較についても説明されたい。



Q 大野ならではの公民館の活かし方検討として、人がつながる場所づくりの具体的な内容は？

A 取り組みの検証や課題を洗い出し、協議を行い、大野ならではの公民館を生かす体制や手法などの方向性を定める。

意見：各校区に寄り添った公民館の在り方も検討要望したい。

第438回定例市議会 (令和6年3月定例会)



Q 南六呂師区以外でも光害対策の外灯を交換する予定はあるのか？

A 他の地域で照明器具への交換は計画していないが、将来、広がっていく可能性もある。引き続き啓発活動を行う。

意見：星空への関心も高まってきている。市全体で取り組んでいる姿勢を観光客にも伝わるようにして行ってほしい。阪谷小学校の児童が作った星空スポットの周辺だけでも、外灯を変えることを検討いただきたい。



光害対策の外灯 (現状)

Q 南六呂師区において、緊急時現在の外灯では足元に不安を感じるとの声があるが、市の考えを伺う？

A 心配される場合は外灯を増設することは可能。必要な場所に付けてほしい。令和6年度中は補助もある。

意見：外灯の交換に協力いただいたのであれば、設置後の声を聞くなどのフォローもしてください。



結のビジネスコンテスト キックオフミーティング

Q 再開し2年目を迎えるスターランドさかに、市としての今後の考えを伺う？

A 連携を密に情報発信や修繕など施設管理に努める。施設は補助金関係上、使用に制限があるが6月以降には解除される。新たな事業を検討していく。

意見：六呂師高原活性化構想との連携もしっかりと検討いただきたい。また、地域住民へ方向性などの情報開示は早めにしていただきたい。

Q 市のビジネスプランコンテストに対する考えを伺う？

A 新しいビジネスへの挑戦者とビジネスプランの増加を目指し、3カ年継続して開催する予定。商店街や新しい分野の事業承継を行うなど、幅広いアイデアを募集している。

意見：次回からは「商店街だけを対象」としたり、ジャンルを絞った計画を検討してほしい。また、補助金の見直しも要望する。

第439回定例市議会 (令和6年6月定例会)



Q 大野市文化会館あり方検討委員会の過去3回の委員会での様子を伺う？

A 整備案において、予想以上に高額で毎年の市負担も大きいと判明。「必要だが財政負担が重い」という意見が出た。今後、人口減少対策やインフラ維持を考慮し、既存施設の設備を強化する代替案を検討委員会に提示し、検討を求めることにした。

Q なぜ委員会でなく、このタイミングで文化会館新築案を踏みとどまると結論を急いだのか？

A 再検討し、現行の検討案を進めることは踏みとどまる必要があると判断した。既存施設の整備費に係る見積もりや財政的見通しを示す必要があり、次回は7月に予定していたが遅れる見込みである。

意見：あり方検討委員会のメンバーをないがしろにせず、もっと寄り添った建設的な議論を行ってほしい。また、避難所問題に対しても早急に方針を示してほしい。

1 小中学校施設改修事業について（臨時）

- 児童生徒の学校生活や学習環境の充実を図るため、学校施設や設備の改修工事をしています。（開成中学校・陽明中学校・下庄小学校）
- 改修工事に向けた実施設計をプロポーザル方式で実施決定されました。（有終南小学校・富田小学校）

* 校舎は令和7年度に完成予定。
 * 開成・陽明中学校体育館の改修は延期されます。
 体育館改修につきましては、市全体の財政状況も見極めながら検討する予定。

（大野市小中学校施設管理計画 令和4年度3月資料）

学 校 名	改修初年度の建築経過年数	計 画 予 定 年 度										
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
下庄小学校	38年	■	■	■								
開成中学校	49年	■	■	■								
陽明中学校	51年	■	■	■								
有終南小学校	44年		■	■	■	■	■	■				
富田小学校	21年		■	■	■	■	■	■				

△ 中学校再編
△ 小学校再編

詳細調査(内容決定)・実施設計
 改修工事



陽明中学校



開成中学校



下庄小学校

2 有終西小学校卒業生の進学先について

- 有終西小学校を卒業する児童の進学先は？

○ 令和5年12月の定例教育委員会での決定により、令和6年度に卒業する児童の進学先は従来通りとなります。

大野市の18年をつなぐ教育



○ 陽明中学校区に居住する児童が開成中学校に進学を希望する場合、これを認めます。

○ 小中学校の再編が完了する令和8年4月までに、通学区域を変更する予定です。開成中学校に進学予定となります。

○ ご家庭の事情等で進学先を変更する場合は教育委員会に申し出てください。

3 文化会館について

現在の文化会館の現状は？

⇒空調設備は経年劣化でいつ故障してもおかしくない状況。

令和8年6月には60年が経過し耐震性・安全性の問題により閉館になります。

令和5年8月2日

市長から全12名に委嘱状を交付
文化会館あり方検討委員会を立ち上げました。

タイムスケジュール（当初）

項目	R 6	R 7	R 8
文化会館のあり方検討委員会	4月第3回 第4回第5回 政策方針決定		令和8年6月 耐用年数経過（休館）

現在検討している主な案

案①	現敷地に新築案	文化会館は文化芸術だけではなく、災害発生時、近隣住民の大切な避難場所！
案②	駅頭公園に新築案	
案③	結とびあを増改築案	
案④	図書館を増改築案	

- 文化会館整備候補案4案に対し現況調査・法適合調査、概算事業費・ランニングコストの積算実施。
- あり方検討委員会に説明・報告。

- 第439回定例会本会議一般質問および、くらし産業常任委員会において、市長から整備四案の検討を進めることは、財政状況と今後の財政見込みを踏まえ踏みとどまると答弁あり。
また市長から既存施設に音響や照明設備を強化する代替案をあり方検討委員会に提示し、検討いただくよう求めたいと答弁あり。

4 公共施設再編推進室の取り組みについて（新規）

令和6年4月1日スタート

- 「公共施設再編推進室」って何をするところなの？

遊休市有地の売却・有効利用

公共施設の再編をスピード感をもって進める

公共施設再編計画

廃止
廃止検討

解体
除却

加速

公共施設再編推進室の役割

- 廃止方針の公共施設の処分**
施設の方向性が「譲渡」や「除却(解体)」となっている施設の処分の推進
学校施設の民間譲渡を含めた利活用策の検討と実施
- 施設ごとの再編の進捗管理**
施設の方向性が「現状維持」や「見直し」となっている施設の方向性の再検討
- 大野市公共施設等総合管理計画の管理**
総合管理計画、公共施設再編計画編及び個別施設計画編の管理、進捗状況の管理
公共施設等総合管理計画等の改訂
- 遊休市有地の売払い**
市で利用する予定のない遊休市有地の売払い

5 大野市こども家庭センター開設について（新規）

令和6年4月1日スタート

- 「こども家庭センター」って何をするとところなの？
- どこにあるの？何を相談できるの？



結とびあ1階（こども支援課内）に設置しました。

- ① 妊娠届受付、母子健康手帳交付
- ② 乳幼児健診、妊産婦検診
- ③ 赤ちゃん訪問
- ④ 妊娠・育児に関する相談
- ⑤ お子さんに関すること、ご家庭での困りごとに関する相談 等

妊娠・出産・子育てについての総合相談窓口です。

⇒ これまで健康長寿課が行ってきた妊産婦や乳幼児への支援（母子保健業務）。



⇒ こども支援課が行っていたお子さんのことに関する相談対応（児童福祉業務）。

* 妊娠期～子育て期にわたって、すべての妊産婦、子育て世代、こどもに寄り添った支援を行います。
（保健士・社会福祉士・管理栄養士・保育士などの専門職が連携・協力し、全力サポートします）



6 地域安心スマイル事業等について

高齢者や障がい者の通院や買い物などに係る移動手段の確保（利便性の向上）

	変更前（R5）	R6（拡充）	変更前（R5）	R6（拡充）
補助事業名	福祉タクシー利用料金補助事業		高齢者外出支援タクシー利用料金補助事業	
	福祉課		健康長寿課	
事業の目的	障害者等の外出支援		高齢者の外出機会の創出及び支援	
対象者	身体障害者手帳1級、2級 療育手帳A1、A2 精神障害者保険福祉手帳 1級、2級 *自ら自動車を保有し 運転する者は除く	変更なし	満65歳以上の運転 免許を有しない市民	変更なし
利用先	県内のタクシー会社・個人、 介護タクシー、福祉有償 運送事業者	変更なし	市内のタクシー会社・ 個人、介護タクシー	県内のタクシー会社・ 個人、介護タクシー
一人あたり 助成額 (年度)	タクシー初乗り運賃24枚 年度途中は月割り減 *実績は約14,000円分	500円×60枚 =30,000円分 乗車1回に複数枚使用可 ただし、おつりは出ない バス・乗合タクシー等の 公共交通には使用不可	500円券×6枚 =3,000円分 乗車1回に1枚のみ 使用可	500円×24枚 =12,000円分 乗車1回に複数枚使用可 ただし、おつりは出ない バス・乗合タクシー等の 公共交通には使用不可

7 越前おおの型農業推進事業補助について（新規）

●越前おおの型農業推進事業補助とは何ですか？



* 基幹的な転作作物である、麦やソバ大豆の生産に必要で、**国や県の補助の対象とならない機械の導入**に対し補助します。
また、ドローンの導入による農作業の省力化と後継者不足に対応するため、**農業用ドローン操作講習の受講費用**を補助します。

予算総額 ⇒ 250万円

令和6年度一般会計補正予算（農林水産業費補助金）

	補助金名	金額	補助金内容
農林水産業費	新規就農者支援事業補助	17,186千円	新規就農者が実施する経営発展のための機械の導入に対する補助を増額する
	中山間総合対策支援事業補助	19,597千円	中山間地域の営農維持を図るための機械の導入に補助する
	未来に繋ぐふくいの農業応援事業補助	24,320千円	営農省力化及び新規就農支援のための機械・施設の導入等に対し補助する
	麦・大豆生産技術向上事業補助	4,136千円	麦・大豆の生産性向上のための新たな営業技術の導入に対し補助する

8 新規就農者支援補助について

事業名	内容	区分・助成額
(1) 新規就農者育成総合対策（経営開始資金）	【50歳未満の方を対象】 農業を始めてから経営が安定するまで最長3年間、給付金を給付します。 ※前年の世帯所得600万円未満であることなど条件があります。	年間最大150万円（最長3年間）
(2) 新規就農者育成総合対策（経営発展支援）	【50歳未満の方を対象】 新規就農される方に、機械・施設等の導入を支援します。	補助率3/4 事業費の上限 1,000万円 ※（1）経営開始資金の交付を受ける場合は事業費の上限が500万円
(3) 就農奨励金	【50歳以上60歳未満の方を対象】 農業経営を開始して間もない新規就農者に対して、出身区分に応じた期間に奨励金を交付します。	非農家出身者（助成期間3年間） 【1年目】 月15万円 【2年目】 月10万円 【3年目】 月5万円 兼業農家出身者（助成期間1年間） 【1年目】 月15万円 専業農家出身者（助成期間1年間） 【1年目】 月5万円
(4) 小農具等整備奨励金	【60歳未満の非農家出身者を対象】 経営開始時期に必要な小農機具等の購入費の一部を支援します。	小農具購入費の2分の1（上限50万円）

9 農業集落排水事業統合について

汚水処理施設最適化計画

【計画の目的】

人口減少の到来による使用料収入の減少と汚水処理施設（公共下水道、農業集落排水処理施設、浄化センター）の老朽化に伴う更新費の増加が見込まれる中、良質な汚水処理を将来にわたって持続的に行うため、本市における汚水処理施設の最適化を図る。

農業集落排水処理施設の最適化 ー統合方針ー

●大野市汚水処理施設最適化計画に基づき、農集施設の統合を進める

公共下水道と統合（8 処理区）…上庄第一、上庄第二、稲郷・野中、上庄西部、上庄南部、木本、富田中部、富田南部

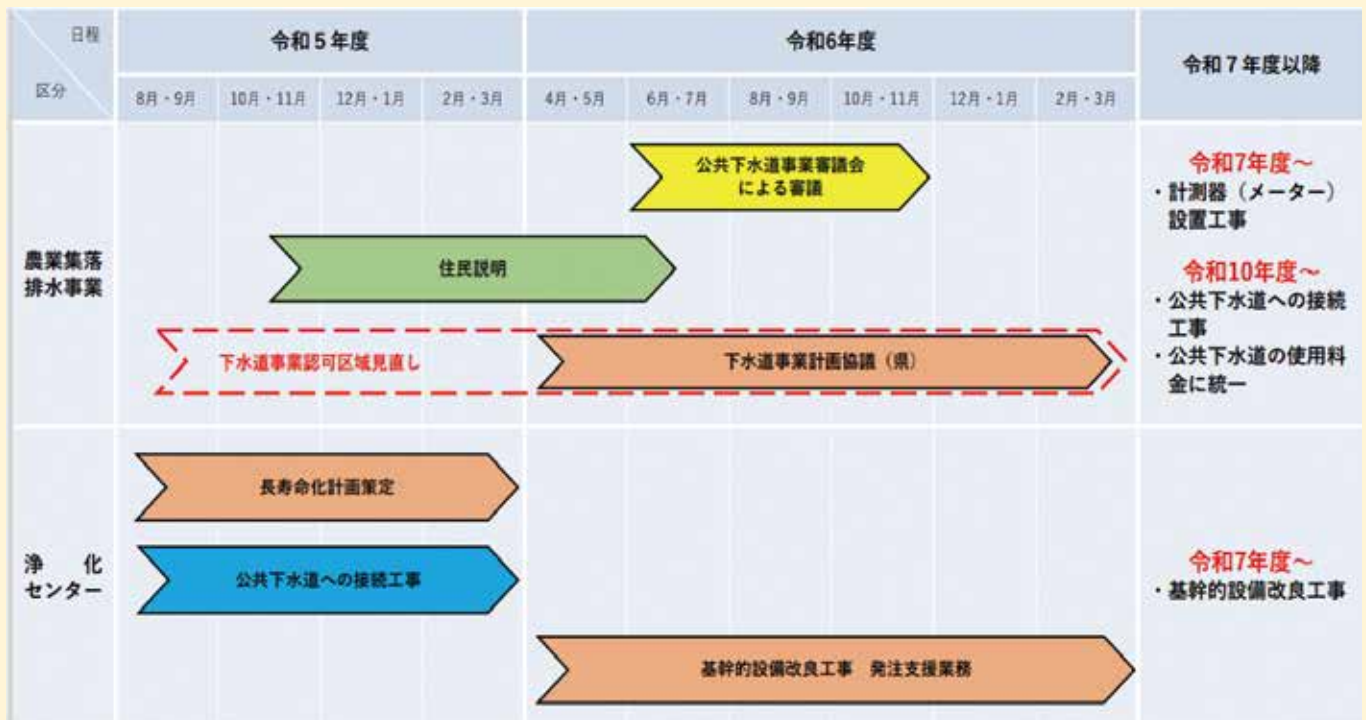
農集同士で統合（2 処理区）…阪谷第一、阪谷中部

規模縮小（5 処理区）…佐開、下唯野、南六呂師、阿難祖、黒谷

●汚水処理の公平性の確保、効率化による収益性の向上を図るため、処理区ごとの独立採算制をとりやめ、公共下水道事業と経営を一つに統合する

●農集の料金体系を公共下水道料金(従量制)に統一し、下水道事業使用料金とする

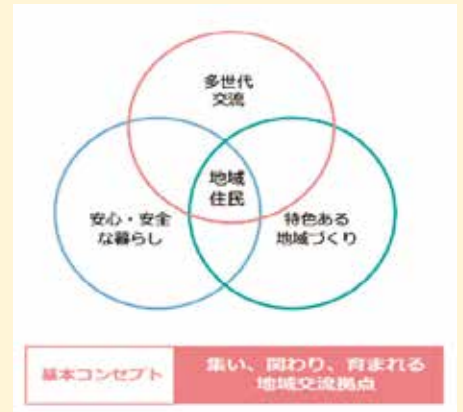
ロードマップ



10 (仮称) 乾側地域交流センター整備について

施設整備の目的と基本コンセプト

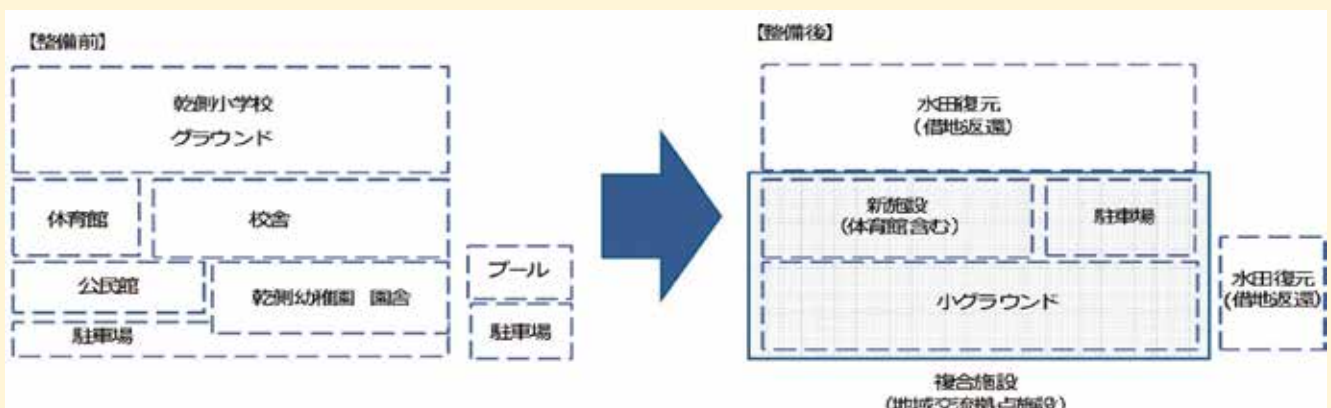
⇒住民主体の地域づくり活動の誘発や地区への愛着の情勢など、地域の活性化につなげることを目的として、交流センターを整備します。交流センターは住民自ら集い、関わるなかで地域の未来をつくる拠点施設であることから「集い、関わり、育まれる地域交流拠点」を基本コンセプトとする。



整備スケジュール

令和6年度に、新施設及び体育館改修の実施設設計業務と小グラウンドや駐車場、外構工事の設計及び測量を行います。令和7年度に、新施設の建設工事と体育館の改修工事に着手し、令和8年度中に供用を開始します。その後、現乾側公民館を解体し、解体跡地に小グラウンドを整備します。小グラウンドに敷設する土は旧乾側小学校グラウンドの土を再利用するため、旧乾側小学校グラウンドの水田復元整備工事は令和9年度完了を予定します。

年度	仮称センター本館 改築	体育館改修	小グラウンド 駐車場等	校舎解体等
R6	実施設計	実施設計	測量、設計	校舎等解体工事 水田設計
R7	完了 改築工事	完了 改修工事	完了 駐車場等工事	完了
R8	供用開始	供用開始	完了 小グラウンド 工事	公民館解体工事 水田整備工事
R9			供用開始	完了



12 大野市民の会ちょっとした議員活動報告



中学校統合により、最後の卒業式となりました。伝統ある中学校の廃校は悲しい思いですが、思い出深い卒業式となりました。帰山議員、笹山議員も参加しました。



市制70周年記念、大野市消防総合訓練にも参加しました。



第60回 越前大野名水マラソンを野口みずきさんをお迎えし開催されました。会派一同も参加しました。



地域の賑わい祭りでもある2024九頭竜新緑まつりにお邪魔しました。



生態系を守る活動として、外来魚コクチバス駆除に参加しました。



大野市制施行70周年記念式典を結とびあで開催され出席しました。



行政視察研修として福岡県福津市・春日市・熊本県熊本市・玉名市に会派研修に行きました。オンラインを活用した議会報告会や地下水保全等、各市の講師の方々から様々な説明を頂き、価値ある研修となりました。



お時間が御座いましたら
議会傍聴へお越しく下さい！